

文化財庭園保存技術者協議会 会報

2007.6 第10号

編集・発行：文化財庭園保存技術者協議会（代表：玉根徳四郎）

〒600-8361 京都市下京区大宮通花屋町上ル NPO みどりのまちづくり研究所内

TEL. 075-341-2600 FAX. 075-361-0961

評議会連絡所：〒606-8371 京都市左京区北白川瓜生山 2-116 京都造形芸術大学日本庭園研究センター

TEL. 075-791-9018 FAX. 075-791-9342

東京 連絡所：〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 1-6-3 福田ビル 3F 文化財庭園保存技術研究センター

TEL. 03-3202-5233 FAX. 03-3202-5394

平成19年度総会・第1回研修会のご案内

平成19年度総会・第1回研修会を下記の通り開催いたします。平成18年度は庭園石造物管理技術を主なテーマに研修会を開催しましたが、平成19年度は庭園構造物管理技術を中心とした研修会を計画しています。今回の講演会は2名の講師をお招きし具体的な事例を交えご講演頂いた後、史跡・特別名勝天龍寺庭園にて見学を行います。

実技技能研修では、京都市指定名勝西村家庭園にて、庭園についてのご解説を頂き、空間構成、管理方針について会員諸氏と討議しつつ、実際の庭園において技術研修会を行います。

実地技能研修では、京都市左京区南禅寺及びその界隈の庭園にて研修会を行います。活発な意見交換も展開されます。ふるってご参加下さいますようご案内いたします。

●平成19年7月27日（金） 会場：史跡・特別名勝天龍寺庭園

13:15 総会（天龍寺 友雲庵）

14:15 講演会

①「名勝庭園の誕生とその指定の背景について」

講師：丸山宏氏（名城大学教授・本協議会評議員）

②「京都市指定・登録名勝庭園の保存管理計画について」

講師：今江秀史氏（京都市文化市民局文化財保護課文化財保護技師）

15:45 天龍寺庭園見学

①「天龍寺庭園の変遷について」

講師：尼崎博正氏（京都造形芸術大学教授・本協議会評議員）

②「天龍寺庭園の維持管理について」

講師：平木信行氏・曾根将郎氏・曾我部聖二氏（株式会社曾根造園所属・本協議会会員）

17:00 天龍寺法堂見学 講師：小川湫生氏（天龍寺法務・庶務部長）

18:30 情報交換会（「嵐山辨慶」京都市右京区嵯峨天龍寺芒ノ馬場町34 参加費8,000円予定）

●平成19年7月28日（土） 会場：京都市指定名勝西村家庭園

9:00～15:30 実技技能研修

15:50～ 講評

17:00 閉会

●平成19年7月29日（日） 会場：京都市左京区南禅寺及びその界隈の庭園

9:00～12:00 実地技能研修

総会会場

☆総会会場☆

名称：天龍寺 友雲庵

住所：京都市右京区嵯峨天龍寺芒ノ馬場町68

交通：京福電車「嵐山」駅より徒歩1分

JR嵯峨野線「嵯峨嵐山」駅より徒歩12分

公共交通機関をご利用下さい。

☆研修会会場☆

27日 教養研修・見学会 史跡・特別名勝天龍寺庭園

28日 実技技能研修 京都市指定名勝西村家庭園

29日 実地技能研修 南禅寺及びその界隈の庭園



平成 18 年度 第 2 回研修会開催される

平成 19 年 1 月 20 日(土)・21 日(日)、和歌山県内において参加者 55 名で、来賓に文化庁記念物課文化財調査官平澤毅氏、和歌山県教育庁生涯学習局文化遺産課長藤井保夫氏をお迎えし、研修会を開催しました。

20 日(土)、名勝養翠園養翠亭にて教養研修が行なわれました。はじめに、当協議会の監事でご提供いただいた養翠園主藤井清氏より開会の挨拶があり、つづいて平澤氏、藤井保夫氏より来賓挨拶をいただきました。

教養研修では、基調講演で平澤氏より「文化財庭園の状況」について講演いただきました。文化財庭園の最新事情として、平成 18 年 11 月の文化審議会文化財分科会での指定・登録答申の名勝、登録記念物を、スライドや図面を使い説明いただきました。この中で名勝指定を受けた秋田県の旧秋田藩主佐竹氏別邸(如斯亭)庭園で、



教養研修の様子



養翠園実地技能研修の様子

講演2では、養翠園主藤井清氏より「名勝養翠園庭園」について講演いただきました。養翠園の歴史と庭園の特徴を、古絵図や写真を交えて説明いただきました。また庭園の維持管理を管理者の立場から、周辺環境との関わりや植栽管理、浄化装置等の維持管理の課題を示されました。

講義3では、本協議会評議員尼崎博正氏より「文化財庭園の本質的価値を構成する要素」について講演いただきました。文化財庭園の変遷や、その時代時代の美意識、価値観の変化を認識し、庭園の本質的な価値を読み取る必要性を示されました。何段階かの変遷を重ね成立したことが確認された庭園を、どの段階の姿に復元するのか、時代性や文化性を踏まえて考察し、見極めることが必要であると解説いただきました。



和歌山城西之丸庭園実地技能研修の様子

引き続き、養翠園庭園にて実地技能研修が行なわれました。藤井清氏、有限会社パーク総合デザイン松原法昭氏の指導で、庭園の地割りの特徴や水処理の状況、護岸の毀損状況や修復方法等の説明を受け見学しました。

その後、18 時より和歌山東急インにて情報交換会が行なわれ、会員諸氏と各関係者のとの間で交流がはかられました。

21 日(日)午前、名勝和歌山城西之丸庭園、名勝根来寺庭園にて実地技能研修が行なわれました。

和歌山城西之丸庭園では松原氏より、庭園の概要や整備状況の様子を庭園整備報告書(森蘊氏による昭和45~47年)と併せて、整備前と整備後、そして現在の状況を説明いただきました。また当時整備に携わられた正会員山中功氏より、整備の基本方針や整備方法

について、また近年城内の石垣整備された状況を(株)都市景観設計



根来寺庭園実地技能研修の様子

奥村信一氏、和歌山城管理担当者より説明いただきました。

その後会場を名勝根来寺庭園に移動し、現在修復整備が行なわれている聖天池の護岸修復整備の概要を、整備に携わられている準会員福永邦昭氏、準会員曾我部聖二氏より解説いただきました。周辺環境を取り込み、建



粉河寺実地技能研修の様子

物と庭園の関係が一体の空間として構築される植栽管理の方針や、池の漏水原因とその対策について討議がなされました。

午後は、名勝粉河寺庭園にて修復整備の設計管理を手掛けられている本協議会事務局で(株)環境事業計画研究所長吉村龍二氏より庭園の概要と整備方針について説明いただきました。レーザー測量図と飛田範夫氏による平板実測図、これまでの調査内容をもとに庭園整備をどのように行なうのか検討されました。

最後に評議員丸山宏氏より、会員諸氏が考えや意見を交換し、これを共有し活かしていきたいと期待を述べられました。

平成 18 年度 特別技能研修 鎌倉・彦根で開催される

特別技能研修は、後継者育成事業として研修会員を対象に評議員監修のもと正・準会員指導で技術の向上を図る研修として毎年関東と関西の 2 会場で開催しています。関東では昨年度よりはじまり、2 度目の鎌倉での研修、関西では 2 度目の彦根開催となりました。

鎌倉研修

平成 19 年 2 月 17 日(土)・18 日(日)、鎌倉市瑞泉寺にて実地研修を、さらに建長寺、円覚寺、東慶寺で実地研修を副代表で正会員の廣瀬慶寛氏の指導のもと、参加者 12 名で開催しました。



鎌倉特別技能研修の様子

2 月 17 日(土)午前は、瑞泉寺にて鎌倉市役所世界遺産登録推進担当玉林美男氏より、瑞泉寺の庭園の概要をはじめ、鎌倉市の世界遺産登録に向けての取り組みについて講演いただきました。その後庭園に会場を移し、昨年度の研修の成果と今回の研修方針を協議しました。午後から研修方針に基づき、昨年度から行なってきた偏界一覽亭に至る山道の岩肌に着した苔や雑草、腐葉土を取り除き空間を整備していく実習が進められました。

2 月 18 日(日)午前は、天候不良の為、建長寺、円覚寺、東慶寺にて実地研修を行ないました。廣瀬氏が復元整備された建長寺、円覚寺庭園に、整備の経緯や施工の方法について解説いただき視察しました。そして鎌倉の風土性が特徴づけられた岩盤の迫力を取り込み、自然の優美な空間に触れられる東慶寺境内を見学しました。午後は前日の瑞泉寺での実習の続きが行なわれ、岩の自然起伏からな

る迫力と自然美が引き出され、空間が蘇生されました。この研修は、今回だけの単体研修としてではなく、昨年度から引き続き、これを来年再来年と継続的なスタンスで取り組んでいます。

彦根研修

平成 19 年 2 月 23 日(金)・24 日(土)・25 日(日)、名勝玄宮楽々園、彦根城内にて準会員片石高幸氏の指導のもと参加者 10 名で開催しました。(23 日 8 名、24 日 9 名、25 日 9 名)

2 月 23 日(金)午前、玄宮楽々園にて実地研修が行なわれました。片石氏より、平成 12 年から行なわれてきた植栽整備の方針や管理手法について、写真や絵画史料を交えて解説頂きました。そのあと園内を回りながら整備前後の様子や本庭園の特徴について解説頂きました。

23 日午後から 24 日にかけて、玄宮楽々園地震の間から西側に配されたマツの剪定実習を行ないました。地域性や庭園の性質に見合う姿を検討した上で、どの枝を抜き、どの枝を残すのか等、意見を交換しながら作業を進めました。

25 日は一昨年から特別技能研修を実施している彦根城天守閣に配されたマツの剪定実習を行いました。昨年までの作業状況と、樹形の変化による周辺景観への影響をふまえて、今後どのような剪定管理が必要なのか討議しました。



彦根特別技能研修の様子

平成 18 年度 第 3 回研修会開催される

平成 19 年 3 月 19 日(月)東京都内において参加者 54 名で、東京都建設局公園緑地部、(財)東京都公園協会の協力で研修会を開催しました。



旧古河庭園実地技能研修の様子

午前は、名勝旧古河庭園にて実地技能研修が行なわれました。はじめに代表玉根氏より開会の挨拶があり、つづいて(財)東京都公園協会公園事業部事業推進第二課長田中進氏、旧古河庭園サービスセンター長中山なつ希氏よりご挨拶いただきました。

まず本協議会評議員尼崎博正氏より「旧古河庭園」について講演いただきました。植治の庭園技法や、ジョサイア・コンドルの建築と庭園の関係等、庭園の特徴を説明いただきました。また東京都公園協会技官北村氏より「旧古河庭園の維持管理」について、現在の管理方針や管理方法を具体的に説明いただき、会員諸氏と意見交換を行ないました。

午後は、特別名勝及び特別史跡浜離宮恩賜庭園にて、実地技能研修が行なわれました。庭園は来年度より護岸修復工事が行なわれ、これに先立ち、護岸構造を明らかにするべく発掘調査が進められています。はじめに芳梅亭で、修理事業の委員であり文化財指定庭園保護協議会会長樋渡達也氏より「浜離宮恩賜庭園の修理事業」について講演いただきました。近年文化財庭園における行政ニーズの高まりと姿勢の変化や、企画・計画・事業に関わる三つのレベルの検討システムの構築等、環境が変化していく中での修復復元事業の取り組みを説明いただきました。さらに東京都東部公園緑地事務所工事課設計係長根来千秋氏より「潮入りの池護岸修復、中の橋改修について」講演いただきました。潮入りの池護岸、中の橋の修復が行なわれ、記録が残る1659年からの現在までの工事履歴を、古写真や絵図、平面図を参照し解説いただきました。この後会場を庭園に移動し、実際に発掘調査が行なわれているお伝い橋と中島、中の橋の状況、護岸構造を施工担当者より解説いただきました。また、技術指導されている本協議会副代表で正会員の廣瀬慶寛氏の案内で視察し、整備方針や施工方法について説明いただきました。



浜離宮恩賜庭園教養研修の様子

庭園学講座 14 について

京都造形芸術大学主催の庭園学講座 14 が「京町家の庭」をテーマに8月31日(金)・9月1日(土)・2日(日)の3日間開催されます。先日ご案内させて頂いておりましたが、お申し込み多数のため締め切りました。申し込みについてのお問い合わせは、直接「瓜生山エクステンションセンター」電話 075-791-9124 へお願いいたします。

第4回文化財庭園フォーラムのご案内

第1回は岩手県前沢町(現在では奥州市)、第2回は宮崎県日南市、第3回は秋田市にて開催いたしました文化財庭園フォーラムは今年度で4回目を迎えます。平成19年10月6日(土)・7日(日)の両日で、静岡県内にて開催する計画を進めております。6日(土)は技術見学会、7日(日)はシンポジウムで調整を進めております。参加費は無料ですので、お知り合いの方をお誘い合わせの上、是非ご参集賜りますようお願いいたします。

詳細が確定次第、改めましてご案内申し上げます。

会則の変更

平成19年6月22日(金)に開催いたしました評議会にて、会則変更を行いました。大きな変更は、「準会員補」を新たに設け、現在の研修会員の中で実務経験20年以上の方について適用することになりました。詳しくは総会のご案内と併せてお届けします。

新規加入会員の紹介

平成19年6月で正会員17名、準会員21名、準会員補23名、研修会員33名となりました。ここに新規会員になられた方をご紹介します。

会員種別	氏名	所属	所在
研修会員	矢田 佐智		京都府
準会員補	岡谷 善博	岡谷造園	和歌山県
研修会員	加藤 嘉基	植彌加藤造園(株)	京都府
準会員補	田尻 喜之	植彌加藤造園(株)	京都府

会員種別	氏名	所属	所在
研修会員	西原 厚博	(株)庭園センター	高知県
準会員補	井内 光彦	井内造園	兵庫県
研修会員	畑田 浩	平安造園	兵庫県
研修会員	駒井 一宏	駒井造園	京都府

